



各位

2025 年 7 月 4 日
公益財団法人 日本英語検定協会

英検協会『統合報告書 2025』（pp.27-28）
【コラム】

「データで見る英検～他グローバル試験と比較しても、受験者が多く、金額が安価～」
—本報告書の主なトピックを毎週金曜日に順次ご紹介いたします—

先般、7 月 1 日に英検協会として初めて「統合報告書 2025」を公開いたしました^{※1}。
その際、本報告書の主なトピックを毎週 1 回、コラム形式でご紹介することをお知らせしておりました。

※1 英検協会初、10 年の成果と DX 戦略をまとめた『統合報告書 2025』公開（2025 年 7 月 1 日付）

本日より、毎週金曜日にトピックを順次ご紹介してまいります。

第 1 回となる今回は、「統合報告書 2025」（pp.27-28）
「データで見る英検～他のグローバル試験と比較しても、受験者が多く、金額が安価～」を取り上げます。

データで見る英検

～他グローバル試験と比較しても、受験者数が多く、金額が安価～

グローバルの広域や大企業入試での採用増加に伴い、英語力検定試験の受験者が増えています。なかでも、英検は、10 年以上前から受験者数を伸ばしてきています。グローバルに活躍する若手 4 代受験者の増加と新卒採用の増加を反映しています。

英検の受験者数は国際展開する他の試験と比較しても上位

学習塾業界を通じて英語力検定をバランスよく育成する。これが英検の理念です。国際展開する他の試験と比較しても、英検の受験者数は上位です。これは、英検の理念が広く受け入れられていることが理由です。

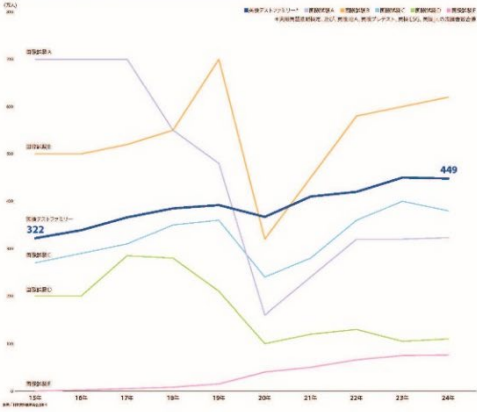
国際展開する他の試験と比較しても、英検の受験者数は上位です。これは、英検の理念が広く受け入れられていることが理由です。

英検の検定料は国際展開する他の試験と比較しても安価

大企業入試での採用に合わせた検定料の低額化が、英検の強みです。これは、英検の理念が広く受け入れられていることが理由です。

ではなく、ほかのさまざまな検定試験においても検定料は、10 年間で 1 割程度に引き上げられています。グローバルに活躍する若手 4 代受験者の増加と新卒採用の増加を反映しています。

グローバル英語試験との比較（受験者数）



グローバル英語試験との比較（検定料）

	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
英検テスト ファミリー ⁽¹⁾	5,035 円	5,594 円	5,854 円	5,854 円	6,468 円	6,909 円	8,574 円	7,889 円	7,889 円	8,611 円
英検試験 A ⁽²⁾	170.5 (25,577 円)	170 円 (18,404 円)	242.5 (27,244 円)	242.5 (27,222 円)	242.5 (26,880 円)	242.5 (25,880 円)	242.5 (26,540 円)	242.5 (21,322 円)	242.5 (21,358 円)	242.5 (21,610 円)
英検試験 B ⁽²⁾	150 円 (28,218 円)	180 円 (26,403 円)	197 円 (26,493 円)	204 円 (25,209 円)	210 円 (25,808 円)	222 円 (23,429 円)	240 円 (24,338 円)	255 円 (21,418 円)	287 円 (20,158 円)	304 円 (20,373 円)
英検試験 C ⁽²⁾	141 円 (24,224 円)	155 円 (23,190 円)	175 円 (25,737 円)	175 円 (25,589 円)	192 円 (24,797 円)	191 円 (22,168 円)	192 円 (22,439 円)	211 円 (24,156 円)	216 円 (20,338 円)	245 円 (24,235 円)
国際試験 D ⁽³⁾	20.5 (25,577 円)	180 円 (17,583 円)	185 円 (20,791 円)	199 円 (20,880 円)	200.5 (21,880 円)	200.5 (21,352 円)	205 円 (22,000 円)	205 円 (22,957 円)	205 円 (21,851 円)	205 円 (24,518 円)
国際試験 E ⁽³⁾	—	20.5 (2,176 円)	25 円 (2,824 円)	40 円 (5,419 円)	40 円 (5,241 円)	40 円 (5,237 円)	40 円 (5,219 円)	40 円 (5,286 円)	40 円 (5,286 円)	40 円 (5,889 円)

※1 英検協会初、10 年の成果と DX 戦略をまとめた『統合報告書 2025』公開（2025 年 7 月 1 日付）
※2 英検試験 A、B、C の検定料は、英検試験 A の検定料の 1/10、英検試験 B の検定料の 1/20、英検試験 C の検定料の 1/30 である。
※3 国際試験 D、E の検定料は、英検試験 A の検定料の 1/10、英検試験 B の検定料の 1/20、英検試験 C の検定料の 1/30 である。

(コラム)

需要・供給・価格で読み解く ― 英検が“国際テスト”と呼ばれる理由

コラムのまとめ

- ・需要：国の学習指針と入試制度が英検取得を後押し
- ・供給：449 万人規模の受験実績と全国・海外の CBT ネットワーク
- ・価格：平均 8,000 円台という低価格を維持しつつ品質向上

英検は国内試験と見なされがちだが、主要な国際試験と比較しても受験者数は上位に入り、検定料も手頃であることから、もはや主要な国際テストの一つといっても過言ではない。

「受験者数が多く、検定料が手頃」。英検はコロナ禍を経てもなお受験者数を伸ばし続けていることがデータに表れています。実際、最新年度の英検テストファミリーの志願者数は 449 万人 と、海外で展開する主要 5 試験と比較しても上位を誇ります。

■ 受験者数が伸び続ける背景

グローバル化の進展に加え、大学入試での英語外部検定利用入試の拡大が英検人気を後押ししています。ここ数年は英検 S-CBT®の海外展開も進み、国内外を合わせた志願者数は他の英語 4 技能試験と比べても常に上位をキープしています。

さらに文部科学省は、中学卒業時に CEFR A1（英検 3 級程度）、高校卒業時に CEFR A2（英検 準 2 級程度）を 6 割以上の生徒が達成することを目標に掲げており、学校現場でも英検が学習指標として浸透しています。

■ 世界標準と比べても手頃な検定料

受験者数だけでなく、「受けやすさ」を左右する検定料でも英検は際立ちます。過去 10 年間で検定料は上昇傾向にあるものの、1 級～3 級平均でも 8,000 円台にとどまっています（2024 年度：8,611 円）。これに対し、国際試験の最上位級は 304 ポンド＝約 59,000 円（2024 年平均レート）と、英検の 7 倍近い水準に達しています。

※「英検」、「S-CBT」およびそのロゴは、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 日本英語検定協会 広報担当 (kouhou21@eiken.or.jp)